



3. 松前中の生徒が桃狩りを体験 /4. お互いの手形をとり、寄せ書きしあう /5. 交流を通して厚い友情を育んだ

松前町と伊達市、それぞれのまちの将来を担う中学生同士が友情を育みました。  
8月1日から3日にかけて、松前中学校の生徒6人を含む訪問団が伊達市を訪れ、松前藩の縁の地「興国寺」・「梁川天神社」の見学や、桃狩り体験などを通して梁川中学校の生徒との交流を深めました。桃狩り体験では、その場で収穫した桃を試食。伊達市のおいしい桃は松前中学校の生徒にも大好評でした。  
あつという間の3日間でしたが、両校の生徒たちは距離を越えた絆を結びました。

## - 姉妹都市 - 北海道松前町



### 松前町とのつながり

江戸時代後期の文化4年（1807年）から文政4年（1821年）にかけて、松前藩が梁川に移封されたことにはじまります。藩士たちが松前と梁川を往復したことで、文化の交流やゆかりの品も多く、その縁で昭和59年10月に松前町と旧梁川町は姉妹都市提携を結びました。

その歴史を引き継ぎ、平成23年10月、新たに松前町と伊達市の間で姉妹都市提携を結び、交流を続けてきました。平成28年からは、次世代の交流として、松前中学校と梁川中学校の生徒会の間で、隔年で相互に訪問する交流事業を行っています。

# 広がる友好の輪 伊達市の都市間交流

この夏、新たに長野県南牧村と友好交流協定を締結したほか、姉妹都市の北海道松前町、アメリカ合衆国リヴィア市、友好交流都市の滋賀県草津市との間で、それぞれ交流事業を行いました。



1. 笑顔で友好交流協定を締結。変わらぬ友好を誓い合う（左から嶋崎議長、大村村長、仁志田市長、安藤議長）  
/2. 村旗と市旗を交換する両首長



## 長野県南牧村と 友好交流協定を締結

8月3日、長野県南牧村役場で友好交流協定の調印式が行われました。南牧村からは、大村公之助村長と嶋崎稔夫村議会議長ら、伊達市からは、仁志田昇司市長、安藤喜昭市議会議長らが出席しました。式典では、両市村の議会議長の立会いのもと、協定書に署名。固い握手を交わし、ますますの交流を誓い合いました。  
南牧村とは、東日本大震災による原発事故以降、子どもたちが安心して外で遊べる場所を提供していただいていたことが縁で交流が始まりました。  
伊達市の子どもたちが南牧村を訪問する「こどもリフレッシュ事業」で交流を深め、平成25年3月には、大規模災害の発生時に相互に協力する応援協定を締結。「だてな太鼓まつり」や、南牧村での「南牧村元気まつり」への参加など、さまざまな交流を通して絆を深めてきました。  
今後は経済や産業、文化、教育など幅広い分野で交流し、南牧村との友好関係をより深めていきます。

## - 国際姉妹都市 - リヴィア市 (アメリカ合衆国)



### リヴィア市とのつながり

旧月館町にリヴィア市出身の英語指導助手が配置されたことが縁で、平成6年から旧月館町とリヴィア市の間で、隔年で中高生の派遣と受け入れを行ってきました。合併後も派遣対象を市全域に拡大しながら、20年以上交流を続けています。両市を合わせて、これまでにおよそ300人が派遣交流に参加してきました。

平成28年8月、合併10周年をきっかけに姉妹都市提携を結び、さらなる交流促進を進めています。



5. スポーツ大会での綱引き勝負。試合前の緊張の瞬間 /6. 初めて身につける剣道の防具に少し緊張の様子 /7. 浴衣で記念撮影



8月9日から17日まで、リヴィア市の訪問団が伊達市を訪れ、市内の視察やホームステイを通じて、それぞれの文化への理解を深めました。  
10日は月館中学校で剣道の体験や生徒とのスポーツ大会を実施。白熱したゲームが展開され、生徒たちと国境を越えて交流しました。12日は伊達市のふる里夏まつりに参加。浴衣に身を包み、「やながわ踊り流し」を体験しました。慣れない動きに最初は少し戸惑っていたようですが、日本の文化だけでなく、地域住民との交流も楽しみました。

### 南牧村とのこれまでの交流



平成23年8月から、こどもリフレッシュ事業で南牧村を訪問し、これまでに延べ1,000人以上の子どもたちが参加しました。



こどもリフレッシュ事業で交流を深め、平成25年3月に大規模災害時相互応援協定を締結しました。



平成28年からは南牧村元気まつりに参加しています。伊達市のブースを出店し、特産品を販売しました。

### 南牧村の概要

長野県の東端に位置し、標高1,000～1,500mの高低差の激しい地域からなります。年間平均気温が6.9℃と低く、冷涼な気候を生かして生産される高原野菜は、長野県下第2位の売上高を誇っています。

夏は避暑地として多くの観光客が訪れるほか、スケート、野球、陸上などの高所トレーニングに最適な場所として、スポーツ合宿の場として利用されています。



南牧村の野辺山駅はJR全線で、最も標高の高い地点（1345.67m）に位置する駅



- 友好交流都市 -

## 滋賀県草津市



### 草津市とのつながり

東日本大震災後に草津市内で行われた復興イベントに伊達市が招かれたことをきっかけに、両市の交流が始まりました。それ以降、イベントでの特産品販売などを通じて交流を深め、平成 25 年 1 月に大規模災害時相互応援協定を締結。平成 26 年 11 月に友好交流都市協定を結びました。

平成 28 年は手作りのクリスマスブーツの展示、コンテストを行う「クリスマスブーツギャラリー」を初めて両市で同時開催するなど、交流を深めています。



1. 霊山道先案内人と一緒に霊山を登山 / 2. 草津駅西口商店街のイベントで、伊達市の桃の販売をお手伝い。大きな声でお客さん呼び込む / 3. それぞれの地域の歴史や自然を通して学んだことを発表した



**草津市**と伊達市、それぞれの地域の伝統や文化、自然に触れ、未来のまちづくりを担う世代を育むため、「みらい KIDS にぎわい交流事業」を行いました。

7 月 31 日から 8 月 2 日は、草津市の小学生が伊達市を訪れ、霊山登山や、つぎだて花工房で流しそめんを体験。

8 月 3 日から 6 日は草津市に移動し、琵琶湖の沖島や烏丸半島での自然体験のほか、草津駅西口商店街のイベントに参加しました。最終日は 7 日間の体験を通して学んだことを新聞にまとめ、学習の成果として発表しました。

## 交流を通して人を、地域を育てる

**他**の地域の自治体と姉妹都市や友好交流都市になることは、交流を通じて、人づくり、地域づくりにもつながっていきます。

伊達市では体験できない自然や文化、産業の体験・学習の機会を得ることで、子どもたちの教育の質が向上し、未来の地域づくりを担う人材の育成につながります。また、他の地域の人

たちから、伊達市の魅力や資源に対する意見を得ることで、伊達市の魅力を再発見し、今までは違う視点の地域づくりに結びつけることができます。

今後は、行政同士の交流だけでなく、お互いの住民が相互に理解を深め、住民や団体同士の交流活動に発展、拡大していくことを目指していきます。



日本の文化を体験  
(リヴィア市訪問団)



協力して新聞づくり  
(草津市の子どもたちと)



野辺山サマーキャンプ  
(南牧村にて)



松前藩縁の地を見学  
(松前中学校の生徒と)